



ニュース&トピックス

ペアレントトレーニングが始まりました

今回も野村和代先生を講師にお迎えしてスタートしました。

「ペアレントトレーニングは、子どもへのより良い関わりを学ぶための保護者向けプログラムです。親は子どもの1番の専門家ですが、近くにいるからこそその苦労もあるでしょう。少しでも楽に、楽しく子どもと良い時間を過ごせるお手伝いができればと思っています。」(トライアングル通信 volume3 ペアトレについて野村先生のお話より抜粋)

(今回のコースの参加者の募集は終了しています。ご了承ください。)

トライアングル両替町オープン

4月1日、トライアングルの両替町教室がオープンしました。

放生館裏の駐車場について

2月からトライアングルが入っている放生館の塗装工事が行われています。工事期間が6月下旬までの予定となっており、その期間はお利用できません。今しばらく、ご不便をおかけしますが、近隣の有料駐車場等をご利用ください。よろしくお願いたします。

ご意見・ご感想をお寄せください

第6回目のニュースレター、いかがでしたか。まだ、至らない点がたくさんあるかと思いますが、今後さらに内容を充実させていきたいと思っています。

そこで、皆様のご協力をお願いします。ご意見・ご感想等、なんでも結構です。下のメールアドレス宛にどしどしお送りください。よろしくお願いたします。

triangle@shizuoka-fukushi.or.jp

梅雨に入り、街中で色とりどりの傘を見るのがちょっとした楽しみになっている今日の頃です。放デイ『トライアングル』を立ち上げて早1年。最初は小学校低学年16人で始まったトライアングルも、今では小学校1年生から中学3年生まで63人の子どもたちが通うまでになりました。コロナ渦の緊張は続いているようですが、なんとかここまで無事に乗り切ることができました。これも皆様のご理解・ご協力があったからこそ。心より感謝しております。

これまでをふりかえり2年目に向けて

静岡大学 教育学部 特別支援教育 教授 香野 毅

5月にスタートしたトライアングル、この1年を振り返ってみます。スタートから中盤：事前に話し合いを重ねた「こんな風にやってみよう」「こんなプログラムや活動をやれるかな」は、実際の子どもの姿を前にしてなんと無力なことかと実感しました。スタート前の計画書のなんと絵にかいた餅だったことか……。良く言えば、子どもが日々見せるありのままに、寄りそいながら、驚きながら、その成長や安心や楽しみ、(その他ここには書きづらい)感情や行動を見守っていけばよいのだと気づかされました。少し残念がって言えば、「大人のやってみよう」は「子どものこうしたい」のあとに作るべき思いだったかと気づかされました。2年目は個別の時間も設けられます。「大人のやってみよう」vs「子どものこうしたい」の第2ラウンドです。



中盤以降：中学生のトライアングル生活がおっかなびっくり始まりました。おっかなびっくりは、私たちも、利用する中学生もでした。Nドクターの強烈なリーダーシップにより、まずは船出。ここでも事前のころ積みもりと子どもたちの実際の間には、少なからずギャップもありましたが、そこ



は臨機応変に進んできたように感じます。「子どもがどうしたいか」に「大人が応える」のスタンスがはっきりしてきました。そして「それでいいんだ」ということも。

先人は『人は常に何らかの実現を目指す生き物である』といひます。トライアングル風には、『ほっとけば子どもがなんとかする』でしょうか。同じく先人は思春期の子育てのコツを『放牧』と言いました。放牧は自由そうに見えるけど、そこに住む羊や牛は間違いなく育ちます。自分で草を

食み、適度に運動し、夜になったら帰舎します。自立と表裏を成しています。来年からも羊使いの腕が試されます。

番外：衆議院議員、野田聖子さんが来訪されました。インパクト大で、インスパイア(その気にする、激励する、思いや考えを湧かせる)された方も多かったでしょう。私もそのひとりです。

ときどき小学生のちびっこチームと中学生と一緒に遊んでいます。小さい子どもが遊んでもらっているように見えて、実は中学生も遊んでもらっています。人の関係はいつも相互的、与えると与えられるは両者同義。トライアングルも、子どもを育てているように見えて、実は育てられている。そこを間違えないようにすることが、いつも大事なことです。これは感謝や敬意とも表現できます。

2年目、新しい出会いや関係ははじまるでしょう。構えずに楽しんでいきます。

●●●●●
スタッフ紹介



太知 寿恵先生

家族：

夫とカメ1匹

好きなこと：

自然を感じる事、ヨガ(昔、少し習っていました。ゆっくり呼吸をしながら体を動かす中で、心も体もほぐれていく感覚が好きです。)

やりたいこと：

温泉旅行。(ひなびた温泉宿で、お湯につかり、おいしいものを食べたいです。)

一言：

子どもたちと一緒に、色々なことを感じて考えて挑戦して成長していきたいです。一人一人の世界、一人一人が少しずつ進んでいく力を大切にしたいと思っています。

教室のひとこま



遊びたいけれど、みんなが来る前に宿題をやっちゃおう。先生に教えてもらいながら頑張ります！



あれ、行き止まりになっちゃった。そっぢじゃなくてこっぢじゃないの？ みんなで絵本の迷路に挑戦！



さっきまでドッジボールをしていたのに、今度は釣り堀に！子どもたちの発想力には感心させられます。



お店屋さんごっこの看板作り。先生に字を教えてもらいながら頑張って字を書きました！

教室の様子はホームページでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

家庭で使ってほしい子育てのヒント

『こだわりが強く、融通が利かない！』このような問題を抱える子どもに対してどのように接したら良いのか考えてみましょう。自閉スペクトラム症の傾向がある子は、行動パターンや環境へのこだわりが強く『いつも同じであること』を貫こうとする特徴があります。情報や刺激に敏感なため、予期しないことに対して動揺しやすく自分を保つことが難しくなってしまうのです。そのため、『こだわる』ことで刺激や不安が少しでもなくなるように、なんとか調整しようとしています。いつもと同じ環境・手順・日程はデリケートな子どもたちにとって安心できる状態なのです。だから、無理に直そうとするなんて最もやってはいけないこと。こだわることは『律儀さ』『丁寧さ』にもつながります。直すのではなく活かすことを考えて以下の3つのことをやってみましょう。**1.** 『こだわり』には寛容に接する。**2.** 『律儀さ』『丁寧さ』を活かす場を作って褒めてあげる。**3.** 変化の可能性をあらかじめ伝えるなどして、見通しを持たせてあげる。

スタッフのオススメ～絵本編～

今回 紹介する絵本は『からすのパンやさん』。お話は少し長く感じるお子さんもいるかもしれませんが、面白い形のパンがたくさん描かれているページは、『パン図鑑』のようで見ているだけでもワクワクします。さらに絵本の楽しみを広げると、親子で本物のパンを作る事にも挑戦できそうです。

新型コロナウイルスによる休校期間、あるご家庭から、「お手伝いをよくしてくれました。」とお話がありました。お手伝いの中には、料理等、お子さんの成長につながるたくさんの要素が含まれています。親子で関わる事を通して、作る喜び・食べる楽しさを感じる事、食に対する興味や関心の広がり、道具を上手に使う事、将来的な自立等の素地が養われていきます。

緊急事態宣言は解除されましたが、お休みの日や雨の日に、お家で楽しい時間を過ごすきっかけに『からすのパンやさん』はいかがでしょう？ (太知 寿恵)



編集後記 子どもたちと一緒に勉強をしていると驚かされるのがたくさんあります。O君は英語の発音がとっても上手。最初はたどたどしかったけれど、お手本を見せてあげると指示してもいないのにカッコよく発音してくれます。また、A君は独自の英単語記憶方法を持っています。私が考案して書籍やソフトウェアにもなっている方法と同じでビックリ！ 周囲からは勉強が苦手と思われる子が多いけれど、実際に子供たちと向き合ってみるといろんなことが見えてきて、感心させられることばかりです。(M)

トライアングル

放課後等デイサービス

特定非営利活動法人 しずおか福祉の街づくり

〒420-0032 静岡市葵区両替町1丁目7番5号 放生館2F

TEL : 054-273-1177 FAX : 054-266-4037

トライアングル・トライアングル両替町教室

ホームページ : <https://www.shizuoka-fukushi.or.jp/>

メールアドレス : triangle@shizuoka-fukushi.or.jp